

2020年度 RAZUSO 実績報告

1. 実績報告

i. 収支報告

個人会員 542 口、法人会員 130 口の入会をいただき、2,926,000 円の会費収入がございました。

支出としましては、申込サイト運用費用ならびに特典作成費用として 414,515 円を計上させていただきました。

ii. ユースアカデミー支援

ユースアカデミー支援として、4 事業に以下の金額を拠出いたしました。

① スカウティング用備品購入：346,389 円

② COPA RAZUSO 開催：111,717 円

③ U-18・U-15 遠征補助：553,110 円

④ 普及活動用ゴール購入資金：66,770 円

合計 1,077,986 円を拠出させていただきました。前期繰越金とあわせ、2,559,497 円を次期繰越金とさせていただきます。

2. 各事業詳細

i. スカウティング用備品購入

設備の拡充

ユースカテゴリー、ジュニアユース、ジュニアカテゴリー用にカメラ・三脚を購入。映像分析を簡便に行える環境を促進し選手の強化につなげてまいります



ii. COPA RAZUSO 開催

環境面の整備

新型コロナウイルスの感染拡大により、失われた試合機会を創出すべく
県内 54 チームが参加した大会を開催。

決勝はサンプロアルウィンで実施いたしました



iii. U-18・U-15 遠征補助

環境面の向上

2020 年度よりプリンスリーグ北信越で戦うユースとジュニアユースへ
宿泊を伴う公式戦の遠征に対して、宿泊費の半額を補助させていただきました。



iv. 普及活動用ゴール購入資金

設備の拡充

新しい折りたたみゴールを2対購入しました。これによりスクール全校でフットサルゴールを利用した活動が可能となりました。

4つ折りで畳めるコンパクトタイプにつき、スクールのみならず、各クリニックやミニサッカー大会でも活躍予定です。



3. 2021年度の利用計画について

2021年度は以下の通り会費の利用を検討しております。また、情報発信体制を見直し、会員の皆様により多くの情報をお届けさせていただく予定です

i. エリートプレイヤーへの支援

海外短期留学の支援など奨学金制度の創設を検討

ii. 環境向上（ソフト面）

① 海外遠征支援 ⇒ 国際交流事業の推進

② COPA RAZUSO の継続開催（小学3年生の大会新設）⇒地域の競技力向上

iii. 長期検討事項

① 育成用グラウンドの新設 ⇒ サッカー環境の整備

② AIカメラの購入（映像配信や試合分析への利用）⇒ 競技力の向上・会員様へのサービス向上

※いただいた会費は、「グラウンドなどの大型投資に向けた積立」と「機動的に実現可能な投資」の2軸に分けて投資してまいります。松本山雅ユースアカデミーのみならず、地域全体のレベル向上につながる施策もあわせて検討してまいります。

2020年は、新型コロナウイルスの影響により、サッカーファミリーの活動が大きく制限される中での1年でした。一方で、日々サッカーやスポーツを楽しめる環境の尊さを改めて感じることでできる1年で

した。今後も松本山雅ユースアカデミーは、松本山雅ドリームビジョンに掲げた「ひとづくり」を強く推進していく所存です。地域の未来を担う人材を育成するために、RAZUSO という会員組織を通じてお力を貸していただけますと幸いです。